令和元年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会・議事録

日 時 令和2年1月16日(木)
午後6時30分～6時55分
場 所 石狩市役所5階 第1委員会室

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 諮問
(1) 石狩市国民健康保険税の改定について
- 4 審議
(1) 資料説明
(2) 審議
- 5 その他
- 6 閉 会

出席者(8名)

会 長	内 田 博	副会長	築 田 敏 彦
委 員	堀 内 秀 和	委 員	久保田 陽 子
委 員	町 口 知 子	委 員	清 水 康 博
委 員	西 本 真 典	委 員	藤 井 裕 康

事務局(4名)

健康推進担当部長	上 田 均	国民健康保険課長	東 薫
賦課・資格担当主査	寺 嶋 英 樹	給付担当主査	榎 敏 則

傍聴者 0名

《令和元年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会》

開 会（18：30）

○事務局（東課長）

皆さんお疲れさまでございます。

本日は大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

ただいまから令和元年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会を開催いたします。

はじめに、本日の出席状況についてでございますが、石狩市国民健康保険条例第2条に規定する委員の過半数が出席されており、石狩市国民健康保険運営協議会規則第5条第2項の規定に基づき、会議の開催要件を満たしておりますことをご報告申し上げます。

なお、我妻委員、高松委員におかれましては、所用により欠席されるのご連絡をいただいておりますことをご報告させていただきます。

また、前回の開催時においてご報告いたしましたが、公益を代表する委員といたしまして、前任の岩田委員に代わりまして、後任の委員として本日ご出席の西本委員に昨年4月22日付けにて委嘱をさせていただいております。

西本委員におかれましては、就任後はじめての会議となりますので、恐れ入りますが自己紹介のほどお願いいたします。

○西本委員

改めまして、西本と申します。

よろしく願いいたします。

私、普段は石狩希久の園という高齢者施設で管理者をさせていただいております。

なにぶん勉強不足で微力ではありますが、お力添えをいただいて役割を果たしたいと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

○事務局（東課長）

ありがとうございました。

次に、本日の資料について確認をさせていただきたいと思っております。

資料につきましては、先週委員の皆さまにお送りしているところでございますが、お手元にございますでしょうか。

資料は、会議次第のほか、資料1といたしまして、石狩市国民健康保険税の課税限度額改定についてをお送りしているところでございます。

また、次回の会議、来月20日木曜日の開催となりますが、日程調整についての案内文を机上に配付させていただいております。

この件につきましては、議事の最後に改めてご説明させていただきます。

以上、資料等について配付させていただきましたので、もしもお手元がないようでありましたら事務局までお申し出いただければと存じます。

よろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、内田会長から一言ごあいさつをいただいた後、議事に入りたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○内田会長

皆さんこんばんは。

今年最初の会議となります。

昨年と同様に、迅速かつ公正な審議に努めてまいりたいと思っておりますので、皆さまの協力をお願いいたします。

本日は、審議案件がございます。

石狩市国民健康保険税の課税限度額改定についてというもので、事務局から資料の説明を受けた後、審議を行いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会議次第のとおり進めていきたいと思っております。

最初に、諮問案件でございますから、会議録署名委員を指名させていただきます。

町口委員と藤井委員にお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

はじめに、諮問を受けたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（東課長）

それでは、石狩市国民健康保険税の改定について本運営協議会に諮問をさせていただきます。

本来であれば、諮問書は加藤市長から直接お渡しすべきところでございますが、今日はあいにく公務のため出席できませんので、健康推進担当部長の上田からお渡しさせていただきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

○事務局（上田部長）

令和2年1月16日、石狩市国民健康保険運営協議会会長内田博様、石狩市長加藤龍幸代読です。

石狩市国民健康保険税の改定について諮問。

諮問書に記載のとおり、国民健康保険税の改定が必要な状況を踏まえ、石狩市国民健康保険運営協議会規則第3条の規定に基づき諮問いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

○内田会長

諮問をいただきましたので、それでは、審議のほうに入りたいと思っております。

今回は、石狩市国民健康保険運営協議会規則第3条の協議事項、市長の諮問に応じて答申するもののうちの第2項、国民健康保険税に関することとなります。

はじめに、事務局のほうから提出されております資料について説明をお願いいたします。

○事務局（寺嶋主査）

それでは、本日、諮問させていただきました国民健康保険税の改定について、私からご説明いたします。

資料の説明に入る前に、国民健康保険税の課税の仕組みについて簡単にご説明いたします。

国民健康保険税の決まり方についてでありますけれども、保険税は一世帯ごとに決められます。

国民健康保険税は、被保険者の皆さんが、病気やけがをしたときの医療費に充てられる医療保険分、後期高齢者医療制度を支えるための後期高齢者支援金分、介護が必要になったときの費用に充てられる介護保険分の3つの項目で構成されております。

この3つの項目それぞれに、所得に応じた所得割、加入者の人数に応じた均等割、世帯にかかる平等割を合算したものが国民健康保険税となります。

また、医療分、後期高齢者支援金分、介護分には、それぞれ課税の限度額、上限が決められております。

資料1の1の①の表、石狩市の課税限度額の推移の表をご覧くださいと思います。

表の右側、令和元年度の欄になりますが、令和元年度の石狩市の課税限度額は、基礎課税分（医療保険分）は58万円、後期高齢者支援金分は19万円、介護納付金分は16万円、課税限度額の合計は93万円となっております。

本市の課税限度額は、①の表のとおり段階的に引き上げを行っていきまして、表の課税限度額の合計額で見ますと、平成28年度は85万円、平成29年度から平成30年度までが89万円、令和元年度は93万

円となっております。

また、地方税法に定められる法定限度額の数値は、②の表になります。

課税限度額の合計額でみますと、平成28年度から平成29年度までが89万円、平成30年度が93万円、令和元年度は96万円となっております。

これまで本市の課税限度額の改定につきましては、表の①と②の限度額の合計を見比べていただきますと、法定限度額が改正された翌年度において、法定限度額に合わせた内容で改定をしております。

次に、2の課税限度額改定の趣旨についてであります。国民健康保険の被保険者間の保険税負担における公平性の確保を図るため、地方税法施行令等の一部を改正する政令が平成31年3月29日に公布、平成31年4月1日に施行されております。

この改正により、国民健康保険税の医療保険分、地方税法では基礎課税分といいますが、この基礎課税分の法定限度額が58万円から61万円に引き上げられたところでございます。

本市の課税限度額についても、国における改正の趣旨を踏まえるとともに、国民健康保険運営の健全化維持を目的に、これまでと同様に、国の法定限度額に合わせるため、①の表、課税限度額の改定案のとおり、令和2年度の課税分より基礎課税分（医療保険分）の限度額を3万円引き上げて、課税限度額を58万円から61万円に改定しようとするものでございます。

この改定によりまして、課税限度額の合計は、現行の93万円から改定後は96万円になるものであります。

2ページをご覧ください。

表の②については、石狩振興局管内の他市の改定状況となっております。

管内の他市の状況を見ますと、国民健康保険の料金を保険料としている札幌市及び千歳市につきましては、令和元年度から適用しており、本市と同様に保険税としている江別市、恵庭市、北広島市につきましては、条例改正を提案し、令和2年度から改定する予定と聞いております。

次に、3の課税限度額改定による影響についてでございますけれども、令和元年11月末時点での基礎データを使用して推計してみた場合、加入世帯8,297世帯のうち109世帯に影響があるものと想定しております。

また、改定により見込まれる課税増加額は、約310万円程度と想定しております。

資料の3ページをご覧ください。

こちらは、参考資料としまして、ただいま説明いたしました地方税法施行令等の一部を改正する政令の新旧対照の条文を抜粋したものとなっております。

説明は以上でございます。

○内田会長

ありがとうございました。

ただいま説明がありましたが、この件に関しまして事前に意見等の照会をしましたところ、質疑については西本委員から、意見については西本委員、久保田委員から提出がありました。

はじめに、質疑を受けたいと思いますので、西本委員のほうから改めて発言をしていただいて、事務局から回答をお願いしたいと思います。

○西本委員

今回の改定に関しては、基本的に政令に準じた引き上げということでございますから、私は賛成したいと思いますけれども、意見といいますか、勉強不足なのでお尋ねしたいと思っていたところが1つありまして、そもそも保険料の未収というのがどのくらいの割合で今現在あるのかということはお尋ねしたいと思っております。

○事務局（寺嶋主査）

ただいまの西本委員のご質問について私からお答え申し上げたいと思います。

未収金はどれくらいの割合なのかということで、平成 30 年度の収納状況、決算ベースの割合になりますけれども、調定額に対して未収金の割合は約 4 割となっております。

また、未収金のうち約 9 割が滞納繰越分にかかる未収金となっております。

私からは以上です。

○内田会長

いかがですか、今の回答で。

○西本委員

はい、理解できました。

ありがとうございます。

○内田会長

その他の委員で質疑がございますか。

(なし)

それでは、意見については西本委員と久保田委員からありましたが、まずは西本委員から今度は意見のほうについてお願いいたします。

○西本委員

先ほどもお話しさせていただいたのですが、基本的に政令に準じた引き上げということでありますから、これについては賛成させていただきたいと思うのですが、その滞納と未収という部分が結構大きいなという印象があったということだけ意見させていただきたいと思います。

○内田会長

それでは久保田委員から意見をお願いします。

○久保田委員

国民健康保険税改定に関する問いかけをいただきまして、私なりに考えてみましたところ、同じ管内の他市におかれましてはすでに改定を決められたところもあり、また、残りの他の市も令和 2 年度には改定予定とのことを伺いますと、やはり石狩市も時の流れではありませんが、止むを得ないのではないかとこのように感じられました。

この改定は、国、都道府県、市町村が国保の運営基盤の磐石を願い、その都度答えを出してこられた結果と思います。

私たち被保険者も確かに値上げ、改定は諸手をあげて賛成という方は限られているでしょうが、今後の国保の行く末を考えますと、やはり、協力しなければという気持ちにはなります。

以上です。

○内田会長

お二人の意見について、事務局のほうから回答等がございましたら。

○事務局（東課長）

まずは西本委員からのご意見でございます。

賛成ということでありがとうございます。

税のほうの実績、先ほどのご説明の中で約 4 割ぐらいが未納として残っているということで、税を今年度賦課して今年度中に納めるもの、それと過去に賦課してまだ残っているものということで、それは滞納繰越分というのですが、その 2 つがございます。

実際、それぞれの場合の収納率がどうかということで補足でご説明させていただきますと、同じく 30 年度の決算ベースになりますが、いただくべきものに対しての収納割合としては約 94 パーセント程度ということになっておりますので、ほとんどの方が当該年度の分は納めていただいているという状況でございます。

ただ、その残った分が本当に生活の厳しい方が残されているということで、生活が改善しなければ何

年も溜まっていくというような状況もございますので、実際滞納繰越分につきましては、収納率のほう
が少し落ちまして10パーセント程度ということで、それを合計しますと未収の割合が4割程度になっ
ているということです。

税のほうも私どもの市では納税課という別な部署になるのですが、そこが非常に力を入れて未納のあ
る方との折衝などをして努めているところであります。

今後とも同様に、公平性を欠かないように努めてまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただ
ければというように思います。

それから、久保田委員のご意見でございます。

賛成するということでご意見いただきましてありがとうございます。

ご意見にありましたとおり、いずれにしても税が上がるという部分でございますので、市民の方にい
くばくか更なるご負担をかけるということについては、私どもも胸を痛めている部分が正直ございま
す。

そういった中でいただいた税金については、しっかりと無駄のないように経費の節約などをしながら、
適正な運営に努めてまいりたいというように考えておりますので、よろしくお願ひしたいと存じます。

以上です。

○内田会長

それでは、これから課税限度額の是非について議論することといたします。

課税限度額の改定については、国民健康保険被保険者間の保険税負担の公平性確保を目的としており
ます。

その主旨や本市の国民健康保険の財政状況からみて、妥当という判断を過去の協議会でもしていただ
いたところであります。

この件につきまして、久保田委員、西本委員よりそれぞれより賛成のご意見をいただいております。

それから、事務局からの回答もございました。

そのほかにご意見をお持ちの方、どうでしょうか。

○築田委員

私は政令で定めているところですので、この上げることについては石狩だけが頑張ってもどうし
もない話なので概ね賛成なわけですけれども、改定により影響を受ける109世帯の世帯数、もし分かれば
参考まででいいのですが、平均所得がどのくらいの人たちなのかというところを教えてください
と思います。

○事務局（寺嶋主査）

実際の109世帯の平均の所得というのはなかなか分からないですけれども、例えば現行の課税限度額
93万円についてであります。給与収入であれば1,066万円、給与所得では大体846万円の所得の方が
限度額に達するような方になります。

年金所得であれば若干下がるのですけれども、年金が1,054万2千円くらいもらっている方につ
いては限度額がすべて達するというような形になります。

家族構成とかそういった部分によってそれぞれの所得の部分が変わってくるのですけれども、目安と
して給与収入であれば1,060万円台というような形の収入がある方がこの対象になってくるという
ようなことになります。

私からは以上です。

○内田会長

よろしいですか。

○築田委員

はい。

○内田会長

そのほかにご意見等ございますか。

あと、何か反対意見のある方はございますでしょうか。

私から1つだけ質問を。

多分、国としては、課税限度額の引き上げによって国保財政が若干でも好転すると考えていると思うのですが、石狩市単独でいいますとあまりです。

300万程度の増加というのはあまり意味はないけれども、政令の改正なので揃えましょうと。

○事務局（東課長）

国が公式にいつている理由といたしましては、結局、国保税全体の中で所得の少ない人が支払う部分、中間所得層の方が支払う部分、それと高額所得の方が支払う部分とそういうものが集まっているわけですが、その限度額を上げることによって所得がより多い方の割合を少し増やすことで、中間層の所得の方の税負担をいくばくかでも和らげたいというような目的での引き上げだという説明がございませぬので、その点については私も市としても反対するものでもございませぬ。

では影響額がどれくらいで、どれくらいの方が救われるのかということになれば、それほど大きな影響にならないのかもしれませんが、その趣旨を十分踏まえたくえで改定をしたいというように考えているところでありますので、ご理解いただければと思います。

○内田会長

わかりました。

それでは、特に反対意見もないようですので、妥当ということでよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

ありがとうございます。

それでは、課税限度額の改定については妥当という結論といたします。

以上で、国保税の課税限度額の改定についての審議はこれで終了したいと思いますよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

異議なしということですので、事務局からこの諮問案件の取り扱いについて何かございますか。

○事務局（東課長）

本日諮問させていただきましたご審議いただきました国民健康保険税の改定についてですけれども、答申書につきましては、本日のご意見等を含めまして会長に一任とさせていただきます存じますがいかがでしょうか。

（異議なしの声あり）

○内田会長

それでは異議なしということでございますので、私に一任していただく形で委員の皆さまのご意見等に十分配慮させていただき、それを答申書に反映させる形で市長へ提出したいと思います。

なお、答申書の内容については、市長へ提出した後に委員の皆さまへその写しを事務局から送付させていただきますのでよろしく願いいたします。

本日の議事についてはこれで終了いたしました。そのほか事務局から何かございますか。

○事務局（東課長）

それでは、次回の会議の開催について申し上げたいと存じます。

来月、2月20日木曜日、時間は本日と同じ午後6時30分からと予定しておりまして、日程調整の案内文について本日皆さまの机上の方に配付させていただいております。

次回は、令和2年度の石狩市国民健康保険事業特別会計予算案の概要についてご説明させていただきたいと考えているところでございます。

委員の皆さまには、今月の末を目処といたしましてご都合についてご報告いただければと考えており

ますので、よろしくお願いいたします。

もし、本日の段階でご都合がお分かりの方がいらっしゃいましたら、帰りがけにご提出されても構いませんのでよろしくお願いいたします。

調整がつき次第、また改めて開催案内の文書を皆さんに送付させていただきたいと考えております。事務局からは以上でございます。

○内田会長

ただいまの事務局からの説明について、何か確認したいことなどございますか。

(なし)

それでは、これにて令和元年度第2回石狩市国民健康保険運営協議会を閉会いたします。

皆さま、ご協力ありがとうございました。

閉 会 (1 8 : 5 5)

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和2年2月20日

会 長 内 田 博 ④

署名委員 町 口 知 子 ④

署名委員 藤 井 裕 康 ④